

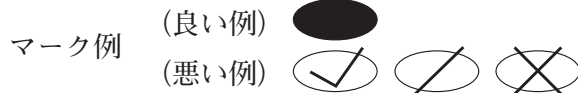
令和4年度（令和3年度実施）
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

中学校 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部
音楽

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。

※本冊子の裏表紙に、【注意事項】の続きが記載されています。本冊子を裏返して、必ず読んでください。まだ、問題冊子は開かないでください。

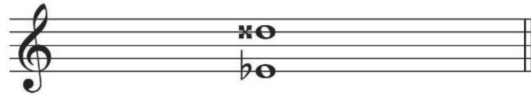


【共通問題】

第1問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 音程に関して、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の楽譜に示す音程を、下のa～dから一つ選びなさい。



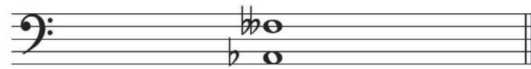
a 長7度 b 短7度 c 増7度 d 重増7度

(2) 次の楽譜に示す音程を、下のa～dから一つ選びなさい。



a 重増5度 b 増5度 c 完全5度 d 減5度

(3) 次の楽譜に示す音程を、下のa～dから一つ選びなさい。

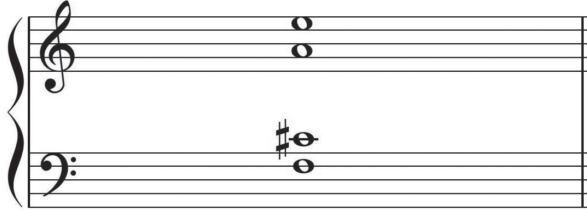


a 減6度 b 短6度 c 長6度 d 増6度

2 和音・コードネームに関して、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の楽譜に示す和音は何調の何度の和音か。下のa～dから一つ選びなさい。

工



- a イ長調のⅠ₇の和音 b ハ長調のⅣ₇の和音
c ロ短調のⅦ₇の和音 d ニ短調のⅢ₇の和音

(2) 次のコードネームで表される和音を、下のa～dから一つ選びなさい。才

C[#]sus₄

a

b

c

d



(3) 次のコードネームで表される和音を、下のa～dから一つ選びなさい。カ

A^b_mM₇

a

b

c

d



3 調性に関して、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 口短調の下属調の平行調を、次のa～dから一つ選びなさい。

- a イ長調 b ホ長調 c 嬰へ長調 d ト長調

(2) 次の楽譜に示す四つの音を全て含む音階を、下のa～dから一つ選びなさい。



- a ハ短調旋律的短音階（上行形） b ト短調和声短音階
c 変イ短調旋律的短音階（上行形） d 変ニ長調（長音階）

(3) 次に示す楽譜をg-mollからf-mollに移調した楽譜として適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

(4) 次に示した楽譜の調を，下の a～d から一つ選びなさい。

- a ヘ短調 b ハ短調 c 変口長調 d ト短調

第2問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 音楽用語等に関して、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1)「次第に速く」という指示の音楽用語を、次のa～dから一つ選びなさい。

a slentando b smorzando c rallentando d stringendo

(2)「精力的に、力強く」を意味する音楽用語を、次のa～dから一つ選びなさい。

a elegante b energico c cantabile d elegiaco

(3)「nobile」の意味として適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

a 素朴に b 悲しげに c 上品に d 楽しげに

(4)「やわらげた声で」を意味する音楽用語を、次のa～dから一つ選びなさい。

a sotto voce b semplice c a piacere d col legno

(5) 次に示した反復記号にしたがって演奏した場合、どのような順番で演奏することになるか。各小節に付された番号を正しく並べたものを、下のa～dから一つ選びなさい。

The musical notation consists of two staves. The first staff has five measures numbered 1 to 5. Above measure 4 is a first ending bracket labeled '1.' and a repeat sign. Above measure 5 is a second ending bracket labeled '2.'. The second staff has six measures numbered 6 to 11. Above measure 8 is a first ending bracket labeled '1.' and a repeat sign. Below measure 7 is the marking 'D.C.'. Below measure 9 is the marking 'Fine'. Below measure 11 is the marking 'D.S.'.

- a ①②③④①②③⑤⑥⑦⑧⑨①②⑧⑨⑩⑪⑧⑨
 b ①②③④①②③⑤⑥⑦①②③⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑧⑨
 c ①②③④①②③⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑧⑨
 d ①②③④①②③⑤⑥⑦①②⑧⑨⑩⑪⑧⑨

2 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 歌唱共通教材「早春賦」(吉丸一昌作詞・中田章作曲)の音楽の形式を、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 一部形式 b 二部形式 c 三部形式 d ロンド形式

(2) 次の文は、ソナタ形式の基本の形を説明している。文中の(①)・(②)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

(①)の主題を対比的に用いて、技巧豊かに展開していく形式。(②)・再現部の三つの部分からなる。

- a ① 三つ ② 提示部・展開部
b ① 三つ ② 主要部・中間部
c ① 二つ ② 提示部・展開部
d ① 二つ ② 主要部・中間部

(3) 次の説明文が示す楽曲の形式を、下のa～dから一つ選びなさい。

本体となる声楽曲や器楽曲の前奏として演奏される楽曲。19世紀には独立したピアノ独奏曲としてもつくられるようになった。

- a ラプソディ b 間奏曲 c プレリユード d セレナード

(4) 舞曲の種類とその説明との組み合わせについて、誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- | ＜舞曲の種類＞ | ＜説明＞ |
|---------|--|
| a ガボット | フランスの宮廷舞曲。アクセントの強い快活な2分の2拍子で踊られる。 |
| b サラバンド | スペイン発祥の宮廷舞曲。荘重でゆるやかな曲想を特徴とする。3拍子。 |
| c ポルカ | 19世紀に流行したチェコの民族舞曲。急速な4分の2拍子で、男女がカップルとなって快活に踊られる。 |
| d メヌエット | ポーランドの民族舞曲。テンポは比較的ゆるやかで、4分の3拍子の力強いリズムをもつ。 |

- 3 次の楽譜は、ある楽曲の第1楽章の一部である。この楽曲に関して、下の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) この楽曲の作曲者名と楽曲名の組み合わせとして正しいものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- | <作曲者名> | <楽曲名> |
|------------|-------------------|
| a チャイコフスキー | 「ピアノ協奏曲第1番Op. 23」 |
| b グリーク | 「ピアノ協奏曲Op. 16」 |
| c ラフマニノフ | 「ピアノ協奏曲第2番Op. 18」 |
| d シューマン | 「ピアノ協奏曲Op. 54」 |

(2) この楽譜5小節目 () で囲った小節) の和音の種類を、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 属七の和音 b 長七の和音 c 減七の和音 d 短七の和音

(3) この楽譜において、①で示されているパートはどの楽器で演奏されるのか。次の a～d から一つ選びなさい。

- a フルート b クラリネット c オーボエ d ファゴット

(4) この楽曲に関する説明として適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 第1楽章では、展開部に入る前に歌謡風の第2主題がチェロによって演奏される。
b 第1楽章の再現部には、第一主題は再現されない。
c 第2楽章には「間奏曲 Intermezzo」と副題がつけられている。
d 第1楽章の再現部の第2主題は、弦楽器のトレモロの上でホルンによって演奏される。

(5) この楽曲の作曲家と同じ国で生まれた作曲家を、次の a～d から一つ選びなさい。

- a シベリウス b ブラームス
c スクリャービン d サン＝サーンス

第3問 次の(1)～(7)の問いに答えなさい。

- (1) 歌唱共通教材の曲名と作曲者名の組み合わせで誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

	<曲名>	<作曲者名>
a	「荒城の月」	滝廉太郎
b	「赤とんぼ」	山田耕筰
c	「夏の思い出」	中田喜直
d	「花」	團伊玖磨

- (2) 次の楽譜に示した声楽曲の曲名と作曲者名の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

	<曲名>	<作曲者名>
a	「からたちの花」	山田耕筰
b	「初恋」	越谷達之助
c	「夏は来ぬ」	小山作之助
d	「平城山」	平井康三郎

- (3) 「よさこい節」(高知県)で使われている音階を、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 都節音階
- b 律音階
- c 民謡音階
- d 沖縄音階

(4) 次の①～④に該当する音楽の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

- ① インド半島のイスラム教徒独特の宗教歌謡。神や聖者を讃える詩を、独唱あるいは主唱者とコーラスが交互に歌うコール・アンド・レスポンス形式の合唱。伴奏には、ハルモニウムと太鼓が用いられる。
- ② 西アフリカの音楽で、声で人々を祝う芸人が、即興的に言葉を紡ぎ歌いながら、歴代の王族や土地の名士などの名前を称えたもの。伴奏には、太鼓やバラフォン、コラが用いられる。
- ③ 朝鮮半島の音楽で、逆境に負けず信念をもって生きた女性たちの物語を、太鼓(プク)一つを伴奏に、一人で語り歌う民衆芸能。
- ④ インドネシアの音楽で、古代インドの英雄叙事詩ラーマーヤナの物語を、男声合唱を伴奏に演じる舞踊劇。

- a ①グリオの語りと音楽 ②カッターリー
③パンソリ ④ケチャ
- b ①カッターリー ②グリオの語りと音楽
③パンソリ ④ケチャ
- c ①パンソリ ②グリオの語りと音楽
③カッターリー ④ケチャ
- d ①ケチャ ②カッターリー
③グリオの語りと音楽 ④パンソリ

(5) 次の文は、中世の時代の音楽について説明したものである。文中の (①)・(②) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

(①) は祈りの言葉が徐々に旋律の形をとるようになったものだが、やがてこれらの歌を「定旋律」として一つの声部に置きながら、(②) 旋律を加えていく多声音楽(ポリフォニー)が作られた。

- a ①レチタティーヴォ ②対位する
- b ①アリア ②平行する
- c ①グレゴリオ聖歌 ②異なった
- d ①リート ②完全5度の

(6) 次の楽譜は、ある有名なオペラの旋律の一部である。このオペラの作品名と作曲者名の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

	<作品名>	<作曲者名>
a	「トスカ」	プッチーニ
b	「椿姫」	ヴェルディ
c	「魔笛」	モーツァルト
d	「リナルド」	ヘンデル

(7) 次の①～④の作品名（作曲家）が古い時代順に並んでいるものを、下の a～d から一つ選びなさい。

- ① 「レクイエム」(モーツァルト)
- ② 「カルミナ・ブラーナ」(オルフ)
- ③ 「教皇マルチェルスのみさ曲」(パレストリーナ)
- ④ 「ノートルダム・みさ曲」(マシヨー)

- | | | | |
|---|---------------|---|---------------|
| a | ③ → ① → ④ → ② | b | ④ → ③ → ① → ② |
| c | ① → ③ → ④ → ② | d | ④ → ① → ③ → ② |

第4問 次の(1)～(9)の問いに答えなさい。

(1) 楽譜に示す音とアルトリコーダー（バロック式）の運指の組み合わせで誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。 ア

a

b

c

d

吹き口 ↓

親指

(2) コードネームとギターのダイアグラムの組み合わせで正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。 イ

a E

b C7

c D7

d Am7

○…開放弦 ×…弾かない弦 △…弾かなくてもよい弦

(3) ホルンの説明として誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

ウ

- a 替管によって各調に合わせる方式が18世紀に一般化し、19世紀には変音弁が発明されたが、19世紀末まで替管式が主流であった。
- b F管にB管の機構を加えたF/Bダブル・ホルンの管長は、B管で約2.8m、F管で3.7mに達する。
- c 右手をベルの奥深く入れて、ベルの口をふさぐフラッター奏法の楽譜上の指定は、音符の真下か真上に+印をつける。
- d シューマン作曲の「ロマンツェとアレグロ（アダージオとアレグロ）」は有弁ホルンのために書かれたものである。

(4) 次の①～④の作品名（作曲家）が古い時代順に並んでいるものを、下の a～d から一つ選びなさい。

エ

- ① 「青少年のための管弦楽入門」（ブリテン）
- ② 「管弦楽のための三つの交響的素描《海》」（ドビュッシー）
- ③ 「合奏協奏曲集」（コレルリ）
- ④ 「交響詩《前奏曲》」（リスト）

- a ③ → ④ → ② → ①
- b ③ → ④ → ① → ②
- c ③ → ① → ④ → ②
- d ③ → ② → ④ → ①

(5) 次の説明文が示す音楽の種類を、下の a～d から一つ選びなさい。

オ

アフリカ系アメリカ人の過酷な生活から生まれた哀愁を帯びた音楽。スリー・コードによる12小節単位のコード進行で構成されている。以後のジャズ、ロックなどの基礎となる。

- a フォーク
- b カントリー
- c ブルース
- d ハウス

(6) 楽器と国名の組み合わせについて誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

	<楽器>	<国名>
a	バラライカ	ロシア
b	スティーロパン	トリニダード・トバゴ
c	モリンホール	モンゴル
d	ムックリ	ベトナム

(7) 次の文は三味線のサワリについて説明したものである。文中の (①)・(②) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

(①) の上部に取りつけられた上駒から (②) だけはずし、小さな切り込みに食い込ませることで、(①) の表面を削ってできたサワリの溝の山の部分に弦が不規則に触れ、複雑な振動が起こる。

- a ①糸倉 ②三の糸
- b ①駒 ②一の糸
- c ①棹 ②三の糸
- d ①乳袋 ②一の糸

(8) 次の「さくらさくら」の箏の楽譜について、①の奏法の説明として正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。 ク

五	十	五	十
六	斗	四	九
七	巾	五	十
八	為斗	六	斗
五 ³ 十 ¹	十	五	十
◎	巾	五	十
	？=	四	九
- ³ 五 ¹	一	三	八
◎	◎	五	◎
		五	
		ス	
		七 ²	為
		？	ス
		◎	為
		⋮	ス
		⊖	巾
		五	
		五	◎
		ス	
		七 ²	為
		？	ス
		◎	為
		⋮	ス
		⊖	巾
		五	
		五	◎
		ス	

- a 爪を弦に対して直角か斜めに構え、急速に反復して弾く。たいてい人指し指を用いる。
- b 親指の爪の裏側で手前に向かって弾く奏法。
- c 左手や、右手の薬指など、爪をはめていない指で糸をはじく奏法。
- d 親指と中指で同時に2本の糸を弾く奏法。

- (9) 雅楽で用いられる楽器の吹物・打物・弾物の組み合わせとして正しいものを、次の a～d から一つ選びなさい。

ケ

	<吹物>	<打物>	<弾物>
a	篳篥	鉦鼓	三味線
b	笙	鞆鼓	胡弓
c	竜笛	楽太鼓	楽箏
d	能管	小鼓	楽琵琶

【選択問題 中学校】

第5問 平成29年3月告示の中学校学習指導要領 音楽について、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「第1 目標」の一部である。(①)・(②)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- (1) 曲想と音楽の(①)などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
 (2) 音楽表現を(②)することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

- a ①仕組み ②批評
 b ①仕組み ②創意工夫
 c ①構造や背景 ②創意工夫
 d ①構造や背景 ②批評

- (2) 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕 2 内容A 表現(3)」の事項の一部である。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- (3) 創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、(①)のある創作表現を創意工夫すること。
 イ 次の(ア)及び(イ)について、表したいイメージと関わらせて理解すること。
 (ア) (②)や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴
 (イ) (③)の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴

- a ①まとまり ②音階 ③音素材
 b ①まとまり ②音構成 ③音楽を形づくっている要素
 c ①統一感 ②音素材 ③音階
 d ①統一感 ②音楽を形づくっている要素 ③音構成

- (3) 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕 2 内容 B鑑賞(1)」の事項の一部である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。
 (ア) 曲や演奏に対する(①)とその根拠
 (イ) 生活や社会における音楽の(②)
 (ウ) 音楽表現の(③)

- a ①批評 ②機能と意義 ③多様性
 b ①評価 ②意味や役割 ③多様性
 c ①批評 ②機能と意義 ③共通性や固有性
 d ①評価 ②意味や役割 ③共通性や固有性

- (4) 次の文は「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(1)ウ」の事項である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

ウ 知覚したことと感受したこととの関わりを基に音楽の(①)を捉えたり、(②)の過程や結果を表したり、それらについて(③)、共感したりする際には、適宜、体を動かす活動も取り入れるようにすること。

- a ①特徴 ②言語活動 ③多様性を認め合ったり
 b ①特徴 ②思考、判断 ③他者と共有
 c ①特性 ②思考、判断 ③多様性を認め合ったり
 d ①特性 ②言語活動 ③他者と共有

- (5) 次の文は「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(9)」の事項である。(①)
～ (③) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ
選びなさい。

(9) 各学年の〔共通事項〕に示す「音楽を形づくっている要素」については、指
導の (①) に応じて、音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、
形式、(②) などから、適切に (③) したり関連付けたりして指導す
ること。

- a ①ねらい ②構成 ③選択
b ①目標 ②構成 ③設定
c ①ねらい ②調 ③選択
d ①目標 ②調 ③設定

【選択問題 高等学校】

第5問 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 芸術 音楽 Iについて、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「1 目標」の一部である。(①)・(②)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- (1) 曲想と音楽の(①)などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
 (2) 自己のイメージをもって音楽表現を(②)することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

- a ①形式や構成 ②批評
 b ①形式や構成 ②創意工夫
 c ①構成や文化的背景 ②批評
 d ①構造や文化的・歴史的背景 ②創意工夫

- (2) 次の文は、「2 内容 A表現 (2) 器楽」の事項の一部である。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- ウ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。
 (ア) 曲にふさわしい奏法、(①)などの技能
 (イ) (②)を意識して演奏する技能
 (ウ) (③)の特徴を生かして演奏する技能

- a ①正しい姿勢 ②他者との調和 ③楽器の音色
 b ①身体の使い方 ②他者との調和 ③表現形態
 c ①正しい姿勢 ②曲想 ③表現形態
 d ①身体の使い方 ②曲想 ③楽器の音色

- (3) 次の文は、「2 内容 B鑑賞 (1) 鑑賞」の事項の一部である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

ウ

(1) 鑑賞

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の (ア) から (ウ) までについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。

(ア) 曲や演奏に対する (①) とその根拠

(イ) 自分や社会にとっての音楽の (②)

(ウ) 音楽表現の (③)

- a ①批評 ②機能と意義 ③個性や多様性
 b ①評価 ②意味や価値 ③個性や多様性
 c ①批評 ②機能と意義 ③共通性や固有性
 d ①評価 ②意味や価値 ③共通性や固有性

- (4) 次の文は「2 内容 [共通事項] (1)」である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

エ

表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽を形づくっている要素や (①) を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。

イ 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する (②) などについて、音楽における (③) と関わらせて理解すること。

- a ①要素同士の関連 ②用語や記号 ③働き
 b ①要素同士の調和 ②用語や記号 ③役割
 c ①要素同士の関連 ②文化や歴史 ③働き
 d ①要素同士の調和 ②文化や歴史 ③役割

- (5) 次の文は「3 内容の取扱い (11)」の事項である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

オ

(11) 自己や他者の著作物及びそれらの著作者の (①) を尊重する態度の形成を図るとともに、必要に応じて、音楽に関する (②) について触れるようにする。また、こうした態度の形成が、(③) の継承、発展、創造を支えていることへの理解につながるよう配慮する。

- | | | | |
|---|------|--------|--------|
| a | ①権利 | ②著作権 | ③音楽文化 |
| b | ①創造性 | ②知的財産権 | ③音楽文化 |
| c | ①権利 | ②知的財産権 | ③文化・経済 |
| d | ①創造性 | ②著作権 | ③文化・経済 |

【選択問題 特別支援学校】

第5問

- 1 特別支援学校の対象となる障害の程度は、学校教育法施行令（昭和28年政令第340号）第22条の3で、次の表のとおり定められている。それぞれの障害の程度について、～に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つ選びなさい。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね <input type="text" value="ア"/> 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね <input type="text" value="イ"/> デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知的障害者	一 知的発達が遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの 二 知的発達遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、 <input type="text" value="ウ"/> への適応が著しく困難なもの
肢体不自由者	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活における <input type="text" value="エ"/> が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は <input type="text" value="オ"/> を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して <input type="text" value="オ"/> を必要とする程度のもの

a 0.1 b 0.2 c 0.3 d 0.4

a 50 b 60 c 70 d 80

a 家庭生活 b 学校生活 c 社会生活
d 職業生活

a 連続的な動作 b 初歩的な動作 c 基本的な動作
d 目的的な動作

a 生活規制 b 運動規制 c 生活の管理
d 体調の管理

- 2 次の文は、中央教育審議会（答申）『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月26日）の「第Ⅱ部 各論 4. 新時代の特別支援教育の在り方について」の一部である。文中の ～ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

(4) 関係機関の連携強化による切れ目ない支援の充実

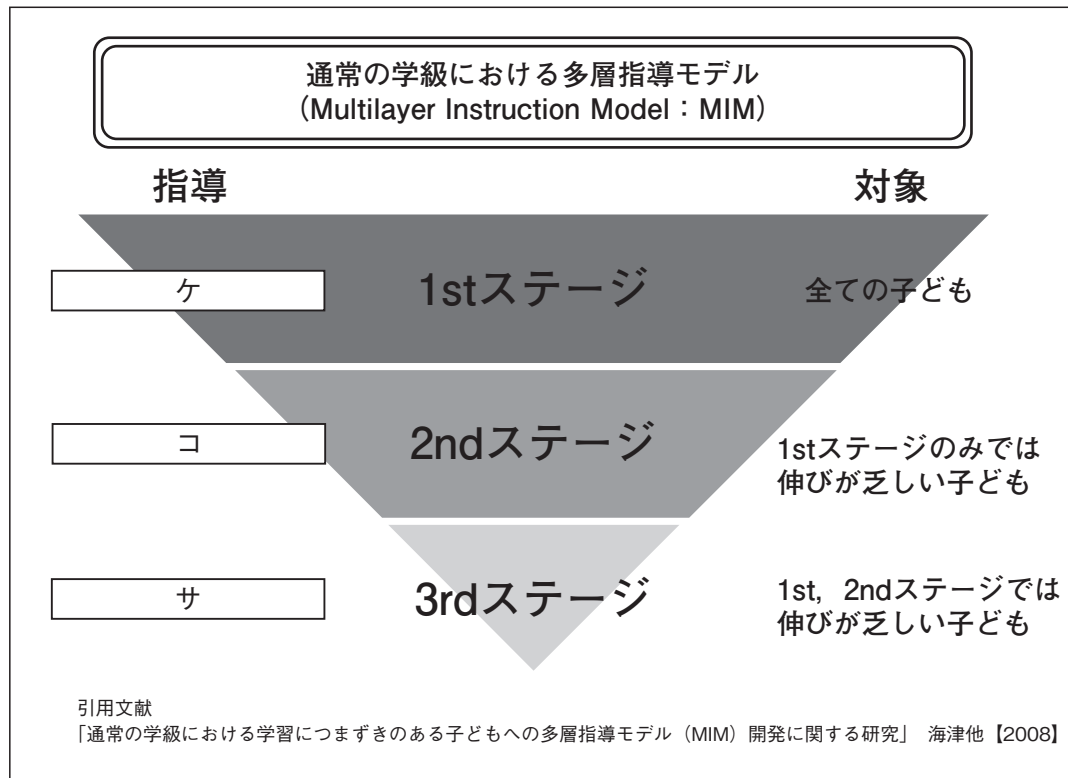
○特別支援学校におけるキャリア教育では、学校で学ぶことと との接続を意識させ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育み、キャリア発達を促すことが重要である。そのため、早期からのキャリア教育では、保護者や身近な教師以外の大人とのコミュニケーションの機会や、 を高める経験、産業構造や進路を巡る環境の変化等の現代社会に即した情報等について理解を促すような活動が自己のキャリア発達を促す上で重要であることから、その実施に当たっては、地域の 関係機関との連携等による機会の確保の充実が必要である。

a 家庭 b 福祉 c 社会 d 企業

a 倫理観 b 自己肯定感 c 生活能力 d メタ認知能力

a 医療 b 就労 c 保健 d 福祉

- 3 高知県教育委員会で作成した『すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック』（平成25年3月）において，次の図は，通常の学級における多層指導モデルとして示されている。図の ～ に当てはまる語句を，下の a ～ d から一つずつ選びなさい。



- a 通常の学級内での補足的な指導
- b 補足的・集中的・柔軟な形態によるサービスの指導
- c 通常の学級内での効果的な指導
- d 補足的・集中的・柔軟な形態による特化した指導



- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の b をマークしてください。

（例）

ア	<input type="radio"/> a	<input checked="" type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> -	<input type="radio"/> ±
---	-------------------------	------------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 6 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。

